

1年間に市民1人当たりが
負担する市税の金額

115,887円

市民1人当たりの決算額

民生費

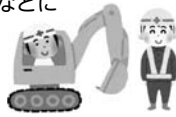
福祉の充実などに



170,982円

土木費

道路や公園の整備などに



35,992円

商工費

経済・観光振興などに



20,081円

教育費

学校施設の整備などに



22,723円

衛生費

清掃事業や保健対策などに



29,062円

総務費

企画調整や税務、地域活動、
防災活動、大学の運営などに



17,464円

消防費

消防施設の整備などに



4,642円

公債費

借入金の返済などに



52,803円

職員費

職員の給与などに



71,485円

その他

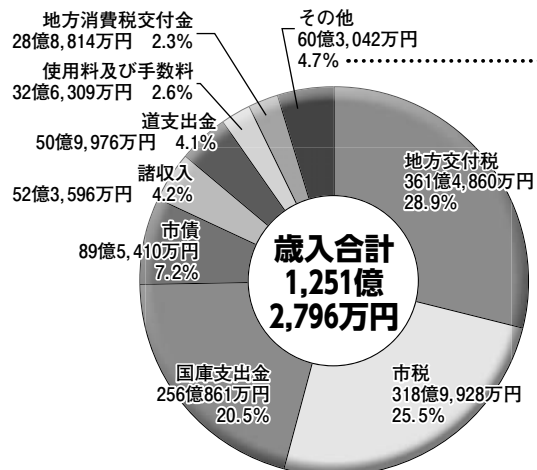
議会費、労働費、農林水
産費、諸支出金など



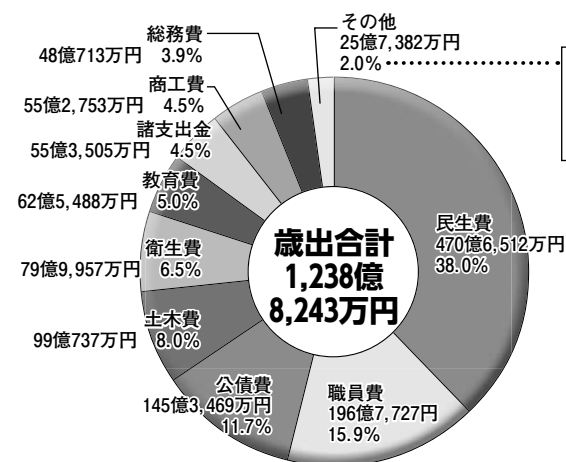
24,816円

※金額は、一般会計の決算額を25年3月31日
現在の人口27万5,263人で割ったものです。

24年度 一般会計決算内訳



繰入金	18億 976万円
繰越金	10億5,324万円
地方譲与税	9億7,546万円
分担金及び負担金	8億5,821万円
寄付金	5億 60万円
財産収入	3億6,615万円
自動車取得税交付金	1億5,652万円
地方特例交付金	1億 701万円
利子割交付金	7,486万円
交通安全対策特別交付金	6,194万円
配当割交付金	3,201万円
ゴルフ場利用税交付金	1,970万円
株式等譲渡所得割交付金	880万円
国有提供施設等所在市町村助成交付金	616万円



消防費	12億7,787万円
農林水産費	6億3,895万円
議会費	4億1,354万円
労働費	2億4,346万円

表2 24年度 公営企業会計決算

(単位:万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益 純損失	不良債務 (注)	一般会計から の繰入金
水道事業	収入 46億5,692 支出 43億 770	20億8,921 36億 644	2億8,946	△20億7,940	1億6,191
温泉事業	収入 4億 463 支出 4億3,816	2億6,258 3億 699	△2,476	△1億 172	140
公共下水道事業	収入 60億 521 支出 52億9,073	36億6,445 58億3,650	6億7,126	△14億6,895	16億6,521
交通事業	収入 13億9,934 支出 11億9,570	3億5,107 4億4,022	1億9,946	5億6,942	5億1,092
病院事業	収入 183億1,188 支出 186億7,346	12億6,074 17億7,465	△3億6,301	2億5,594	25億3,554
合計	収入 307億7,798 支出 299億 575	76億2,805 119億6,480	7億7,241	△28億2,471	48億7,498

(注)不良債務の△は、不良債務を生じていない状況を示します。

はこだて MOMI-Gフェスタ もみじ

ライトアップされた色鮮やかな紅葉とともに、
さまざまなイベントをお楽しみください。

場所 香雪園(見晴公園内)

期間 10月19日(土)～11月10日(日)

ライトアップ 午後4時～9時

ミニライブ ①午後5時～5時半 ②午後6時半～7時

※ ①は水・木曜日を除く、②は金曜日のみ

展示・体験会 午前9時～午後3時(終了時間変更の場合あり)

※ 緑のセンターでの体験会および園亭での茶席は有料

お問合せ 住宅都市施設公社 ☎40-3605

決算のありまし

24年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案されました。

一般会計

市の財政の柱となる一般会計の24年度決算額は、最終予算額1280億1130万円に対し、歳入が1251億2796万円（執行率97・7%）、歳出が1238億8243万円（執行率96・8%）で、歳入歳出差し引き額は12億453万円となりました。

■24年度決算の主な事業

函館アリーナ新築の実施設計、（仮称）日吉多目的グラウンドの基本計画の策定を行ったほか、市営住宅駒場改良団地の耐震等改修、北消防署末広出張所の新築や東消防署南茅部支署新築の実施設計、校舎等の耐震診断調査および耐震改修など、地域の振興・発展に配慮しつつ、都市基盤や生活環境の整備等に努めました。

このほか、函館国際水産・

表1 24年度 一般・特別会計決算

(単位:万円)

会計別	収入済額 (A)	支出済額 (B)	差引額 (A)-(B)=(C)	翌年度へ 繰り越す べき財源 (D)	質 収支額 (C)-(D)
一 般 会 計	1,251億2,796	1,238億8,243	12億4,553	3,373	12億1,180
特 別 会 計					
港 湾 事 業	40億9,432	40億4,331	5,101	9	5,092
国民健康保険事業	348億9,072	351億2,489	△2億3,417		△2億3,417
自転車競走事業	181億8,046	188億 413	△6億2,367		△6億2,367
奨 学 資 金	5,686	5,364	322		322
地方卸売市場事業	4億 128	3億9,863	265		265
介護保険事業	234億5,552	230億6,310	3億9,242		3億9,242
風力発電事業	2,012	1,530	482		482
母子寡婦福祉 資金貸付事業	2億 698	9,913	1億 785		1億 785
後期高齢者医療事業	38億4,746	37億3,398	1億1,348		1億1,348
小 計	851億5,372	853億3,611	△1億8,239	9	△1億8,248
合 計	2,102億8,168	2,092億1,854	10億6,314	3,382	10億2,932

海洋都市構想を推進するため、旧函館ドック跡地に整備する国際水産・海洋総合研究センターの建設に着手しました。また、新幹線開業を見据えたまちづくりを進めるため、官民協働で策定したアク

シヨンプランに基づき、官民協働による北関東・東北地方でのPR活動の実施など各種取り組みを進めました。さらに、観光施策として、新たな観光基本計画の策定に着手し、首都圏や北関東・南

東北地域をはじめ、東アジア地区などでの観光プロモーションを実施したほか、「はこだてグルメサーカス」の開催等、観光イベントの充実に努めました。

また、中心市街地や地域経済の活性化のため、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、「元氣いっぱい商店街等支援交付金」や「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」の交付を行いました。

■今後の行財政運営

少子高齢化や人口の減少、さらには長引く景気低迷などにより、今後においても厳しい財政運営を強いられることが予測されるため、24年度に策定した「函館市行財政改革プラン2012」に基づき、これまで以上に効率的な行財政運営に努め、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から分離して収支経理を行っています。

24年度特別会計決算は、表1のとおりですが、国民健康保険事業特別会計および自転車競走事業特別会計では、赤

字となっています。この不足分は、25年度の収入から繰り上げて充用し、補てんしています。

なお、港湾事業特別会計では、大町地区緑地（緑の島）において、実施設計や基盤整備を行いました。

企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

24年度企業会計決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金48億7498万円が支出されています。

都市基盤の整備

市では厳しい財政状況のなかでも、都市基盤の整備に力を注いでいます。

24年度末では下水道普及率89・8%（前年比0・2%増）、道路舗装率75・0%（前年比0・6%増）となっています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ

財政課
☎21・3527